

令和 4 年笛吹市議会第 4 回定例会

令和 4 年笛吹市議会第 4 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、ハートフルタウン笛吹！商品券事業 第 2 弾についてです。

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、原油価格や物価高騰の影響を受けている市民の生活を応援するとともに、市内事業者を支援するため、市民の皆様に、市内の登録店舗のうち、地元事業所で利用が可能な 7,000 円分、全事業所で利用が可能な 3,000 円分、合計 10,000 円分の商品券を配布しました。

商品券は、12 月 1 日から 2 月 28 日まで利用できます。11 月 30 日現在の登録店舗は 746 店舗となっていますので、市民の皆様が多くの店舗で利用できるよう、引き続き登録店舗の増加に取り組んでいきます。

次に、FUJIYAMA ツインテラスの来訪状況及び周辺整備についてです。

令和 4 年度は、林道の冬季閉鎖期間を除いた 4 月 25 日から 11 月 28 日までの 7 か月間、FUJIYAMA ツインテラスへの送迎バスを運行し、約 2 万人の方が訪れました。

市では、訪れる方の更なる利便性向上を図るため、11 月に、すずらん群生地駐車場に環境に配慮したバイオトイレを設置したほか、すずらん群生地駐車場までのアクセス道路の拡幅工事を実施しています。

今後も、多くの方が旅の目的地として FUJIYAMA ツインテラスを訪れていただけるよう、魅力の向上を図るとともに、更なる周知に努めていきます。

次に、さくら温泉通りイルミネーションについてです。

12 月 23 日から翌年の 2 月 14 日まで、さくら温泉通りの桜 173 本に 55 万球の LED 電球を用いた、約 1 km の幻想的なイルミネーションを実施します。

石和温泉郷の新たな魅力を創出し、観光客だけでなく、市内外の方々にも何度も足を運んでいただける冬を代表するイベント事業として、旅館や観光案内所などにポスターやチラシを配布するとともに、12 月 1 日からは市のホームページに特設サイトを設けてピーアールを行っています。

また、イルミネーションの実施期間中は、足湯広場などにキッチンカーが出店するなど、来場者に喜んでいただける仕組づくりを行っていきますので、県内では最大級となる街路樹のイルミネーションをお楽しみください。

次に、「Xmas 花火 in 笛吹～聖なる夜の冬花火～」の実施についてです。

今年も 12 月 24 日土曜日と 25 日日曜日の 2 日間、クリスマスの夜空を鮮やかに彩り、市内外の多くの皆様に楽しんでいただけるよう市役所前の笛吹川河川敷において、午後 8 時から 30 分間、両日ともに約 3,000 発の花火を打ち上げます。

冬の澄み切った夜空に映える色鮮やかな花火を、御家族、御友人、恋人などと一緒にお楽しみください。

次に、消防団員の処遇改善についてです。

本市では、令和 3 年 4 月に国から出された「消防団員の報酬等の基準の策定について」の通知を受け、消防団員の処遇を見直すこととし、基本消防団員を 3 割削減し、削減した団員数を特定の活動にのみ参加する機能別消防団員で補うこと、年額報酬を見直し、新たに出動報酬を支給すること、各分団に交付していた消防団運営交付金を廃止すること等について、消防団幹部と協議を重ねてきました。

現在は、令和 5 年 4 月からの運用に向け、消防団員の出動状況を管理するとともに、団員個人の口座に報酬を支払うため、消防団管理システムの導入に向けた準備を行っています。

次に、地区防災計画策定支援事業についてです。

行政区における共助による防災力を高めるため、各行政区の特性に応じ、平時及び災害発生時の対応を定める地区防災計画の作成を支援しています。

令和 4 年度は、浸水想定区域内の指定避難所から 4 つの行政区をモデル地区として、10 月上旬から計画作成のためのワークショップを開催しています。ワークショップは、年度末までに 6 回開催し、各行政区の地区防災計画の策定と、浸水想定区域における地区防災計画のひな型及び計画策定マニュアルを作成します。

また、令和 3 年度事業で取り組んだ浸水想定区域及び土砂災害区域の指定がされていない地域での取組成果を基に、行政区長会において作成支援の説明を行い、地区防災計画の作成を促進しています。

次に、防災備蓄倉庫整備事業についてです。

災害発生時に迅速に指定避難所を開設し、避難者を受け入れることができるよう、令和 3 年度から指定避難所に防災備蓄倉庫と備品の整備を行っており、令和 6 年度完了を目指し進めています。

令和 4 年度は、13 か所 25 棟の防災備蓄倉庫を整備する予定で、一般競争入札により 10 月 24 日に仮契約を締結し、契約案件として、今議会に提出しています。

次に、甲府市とのやまなし県央連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議についてです。

人口減少、少子高齢社会にあっても、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済が維持され、住民の暮らしを支えることが可能な魅力あふれる圏域の形成を目的に、甲府市が連携中枢都市となり、本市を含む 8 市 1 町が甲府市と連携する、やまなし県央連携中枢都市圏の形成について、現在協議を進めています。

国の連携中枢都市圏構想推進要綱では、圏域を形成するためには、甲府市が行った連携中枢都市宣言に続き、圏域の構成市町(しまち)がそれぞれの議会の議決に基づき締結する「連携中枢都市圏形成に係る連携協約」、圏域の中長期的な将来像や推進する具体的な取組などを定める「連携中枢都市圏ビジョンの策定」が必要とされています。

連携協約については、地方自治法の規定に基づく議会の議決が必要とされていることから、本市と甲府市の連携協約の締結に関する協議についての議案を今議会に提出しています。

連携中枢都市圏ビジョンについては、令和 5 年 3 月に策定することとして構成市町で検討を進めています。

次に、子どもすこやか医療費及び重度心身障害者医療費助成事業に係る窓口無料対象年齢の拡大についてです。

新型コロナウイルス感染拡大の長期化や、急激な物価高騰が続く中、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、当初の予定より 5 か月前倒して、本年 11 月 1 日から笛吹市子どもすこやか医療費助成事業の対象年齢の上限を 18 歳までに拡大しました。

これに合わせ、障がいのある児童についても医療格差が生じないよう、笛吹市重度心身障害者医療費助成事業の窓口無料対象年齢の上限を 18 歳までに拡大しました。

今後も、より一層、子育て世代の皆様が住みやすく、子育てしやすいまちづくりに努めていきます。

次に、笛吹市特殊詐欺対策アダプタ取付費用補助事業についてです。

近年、電話を掛けるなどして高齢者から現金をだまし取る特殊詐欺の被害が増加しており、本市においても、令和 2 年度は 3 件、令和 3 年度は 5 件の被害が発生しました。

そこで、笛吹警察署と連携し、本市の高齢者が、特殊詐欺の被害にあうことを防止するため、本年 11 月から、特殊詐欺対策アダプタを電話機に取り付ける費用の補助事業を開始しました。

これは、高齢者宅に特殊詐欺の疑いがある電話があった場合、通話録音機能付きの端末が A I を活用して事前に登録した電話番号やメールアドレスにお知らせしてくれるものです。

11 月末現在、アダプタに関する問い合わせは 14 件、笛吹警察署による設置の必要性の確認の後、申請に至った件数は 4 件となっています。

高齢者が安心して暮らせるよう、引き続き、特殊詐欺の未然防止、地域全体の特殊詐欺被害の抑止力として、特殊詐欺対策アダプタの取付について周知していきます。

次に、民生委員児童委員の改選についてです

11月30日に任期を迎え、3年に1度の改選が行われた民生委員児童委員は、12月1日から委員202人による新体制がスタートしました。

民生委員児童委員は、住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする方に対しては、行政や専門機関につないでいただくなど、地域福祉を支える重要な役割を担っています。民生委員児童委員の活動について御理解と御協力をお願いします。

次に、第35回山梨県下市町村対抗グラウンドゴルフ大会の結果についてです。

10月30日に開催されたグラウンドゴルフ大会に、本市から4チームが出場した結果、笛吹Aチームが優勝し、4連覇を果たしました。

選手の皆さんは持てる力を十分に発揮し、見事な成績を収めました。来年も御活躍されますよう期待しています。

次に、第26回全国小学生・中学生俳句会についてです。

今年の俳句会には、全国47都道府県から応募があり、小中学校535校から3万6,731句の作品が寄せられました。

12月17日には、いちのみや桃の里ふれあい文化館において表彰式を開催し、文部科学大臣賞のほか、昨年度から設けた蛇笏・龍太特別賞などの入賞作品を発表します。

次に、令和5年1月22日に執行される山梨県知事選挙についてです。

7月の参議院議員選挙での本市の投票率は、県内でも最低水準となり、特に若年層の投票率低下は課題となっています。

若い世代には、いずれ社会の担い手になるという意識を持っていただき、もっと政治への関心を深めてほしいと願うばかりです。

本市では、投票率向上に向けた取組の一環として、参議院議員選挙から、投票済証を、笛吹高校の生徒がデザインしたものにリニューアルしたところ、投票に訪れた方々から好評をいただいています。

これに加えて、今回の知事選挙では、新たに、期日前投票所を笛吹高校に設置できるよう、学校側と準備を進めています。

令和4年12月2日

笛吹市長 山下 政樹